

公明党議員団視察報告書

1 視察先・目的

- ・静岡県藤枝市

藤枝駅周辺にぎわい再生拠点施設整備事業について

- ・千葉県船橋市

書かない窓口について

- ・千葉県市川市

公立図書館と学校図書館との連携について

2 期間

平成30年7月3日～7月4日

視察報告書

日 時	平成30年7月3日（火）午後1時30分から午後3時30分まで
視 察 先	静岡県藤枝市
視 察 項 目	藤枝駅周辺にぎわい再生拠点施設整備事業について
視 察 者	公明党議員団（大村 聡、泉 清秀）
視 察 内 容	<p>藤枝市では、官民連携による中心市街地のまちづくりを掲げて、市街地整備地区に接する県道381号線、県道藤枝大井川線及び県道善左衛門藤枝停車場線に囲まれた東西約1.5キロメートル、南北約2キロメートル、面積160ヘクタールの区域を定め、拠点づくりをスタートした。</p> <p>計画推進における藤枝市のスタンスは、民間活力の導入による民間事業者の誘導、民間の資金・アイデア・ノウハウ活用による、ハード整備とソフト事業の相乗効果を見込むというものである。</p> <p>従来は駅周辺に図書館がなく、既存の図書館とは距離があり、利便性がよくなかった。旧市民病院が移転した跡地を巡り、市民から多くの要望もあり、図書館を中心とした、商業施設の整備を実施した。商業施設棟の中には、静岡産業大学駅前キャンパス、市産学官連携推進センター、フリーエース美容学校、藤枝おやこ館、ハローワークプラザ藤枝、市立駅南図書館、シネマコンプレックス等を誘致し、年間来場者数目標の120万人をはるかに超える170万人と大きく貢献した。</p> <p>図書館は、親と子がふれあえる児童図書館コーナー、ビジネス支援コーナー等を設置し、年間来場者数目標の26万人をはるかに超え40万人と成果を上げた。今回の効果は、年間170万人の集客、歩行者通行量が41パーセント増加、市としては財政負担の軽減・平準化、民間事業者としては、ノウハウの蓄積、本事業実施による宣伝効果大きい。</p>
所 感	<p>今回の視察の目玉である市街地のまちづくり事業は、官民連携により市民の要望を最大限に活かして事業に着手して成功した事例であり、今後の本市の朝倉駅前周辺整備事業に対し、参考になる視察であった。</p> <p>民間主導で行われるため、市が主体的に関与することができない。今後あらゆるリスクを想定して事前のリスク分担と、それに基づく事業全体の事業契約が必要となる。</p> <p>完成までの工期は決まっている中で、いかに市民の要望に応じて、利便性を追求してよりよい、にぎわいのあるまちづくりができるかが勝負である。</p> <p>官民連携のまちづくりを学んで、朝倉駅前周辺整備事業に向かってどの手法が最善であるかをしっかりと議論し、市民のニーズに応え、利便性を追求して行かなければならないと痛切に感じた。</p>

視察報告書

日 時	平成30年7月4日（水）午前9時30分から午前11時30分まで
視 察 先	千葉県船橋市
視 察 項 目	書かない窓口について
視 察 者	公明党議員団（大村 聡、泉 清秀）
視 察 内 容	<p>「申請書作成支援窓口」、いわば「書かない窓口」。</p> <p>職員が市民から住所、氏名、生年月日、性別の基本4情報やその他の必要事項を聞き取りし、お互いにモニターで確認しながら端末への入力を行い、書類を作成する。それらの情報を入力すると、住所変更と同時に行うべき届出が一覧として表示され、各課に提出する書類（最大で10業務21種類）が印刷される。</p> <p>「住民異動届」には届出人の署名欄を除く全ての情報が自動で印字され（各課に提出する書類についても自動で印字）、記入の手間が軽減できる。また、付随する様々な手続の漏れも防止できる。住民異動届、必要な各課に提出する申請書類及び担当部署を一覧にした用紙を訪れた市民に手渡す。</p>
所 感	<p>窓口で「書かなくても大丈夫です」との言葉は非常に強いインパクトを感じた。</p> <p>ヒアリングしながらの入力は、申請者にも安心感を与え、申請者の滞在時間という観点で見ると、通常記入に要する時間が削減され、市民にも喜ばれ、受付時間が大いに短縮されるとともに、手戻りもなくなり非常に効率的で、窓口の質を高めた上で均質化が図られている。</p> <p>運用を開始したばかりであるが、利用された市民からは「非常にスムーズで助かりました」「不備等が出ないためよい」「安心して、助かる」「今後、休日やより多い場所での対応があると大変便利だと思います」などの声をいただいているとのことであり、満足度の高さがうかがえる。</p> <p>実際にデモンストレーションをしていただき、市民の好感触がうなずけるものであった。本市においても、取り組むべき事業と感じた。非常に参考となる視察内容であった。</p>

視察報告書

日 時	平成 30 年 7 月 4 日（水）午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分まで
視 察 先	千葉県市川市
視 察 項 目	公立図書館と学校図書館との連携について
視 察 者	公明党議員団（大村 聡、泉 清秀）
視 察 内 容	<p>「生きる力・夢や希望を育む学校図書館」をテーマに、公立図書館と学校図書館、さらに学校図書館相互のネットワークを構築する事により、学校図書館を中心とした学校の教育機能を高め、児童生徒の「豊かな心」と「自ら学ぶ力」を育み、生涯にわたって学び続ける市民の育成を目指す。</p> <p>具体的には、「学習を支える図書館」「読書生活を支える図書館」「研究を支える図書館」の 3 つの機能を併せ持った図書館づくりを推進して来た。さらに、これら 3 つの機能を充実させるためにその基盤となる「いつでもだれでも自由に使える図書館」「多様な資料、外部機関と結ばれた図書館」「家庭・地域とともに歩む図書館」の確立に努めている。</p> <p>学校図書館を支える支援システムを構築して、「人のネットワーク」「情報のネットワーク」「物流のネットワーク」の 3 つを連携し、児童生徒が、読みたい本、学習したい本、グループで研究したい本がないまたは不足しているときは、他校と貸し借りができるようにシステムが構築されているので、スムーズに貸し借りができる。また、全校に学校司書を配置して、教員、児童生徒が、読みたい本、欲しい本が安心して提供しあえるようになっている。</p>
所 感	<p>豊富な図書資料があるだけでは、子どもたちの「生きる力」は育たない。子どもたちの読書活動や学習活動に有効な魅力ある情報を充実させるために、校内における人の連携と、学校全体として子どもたちのための学校図書館を目指していることに大変感銘した。</p> <p>本市においても、児童生徒の「豊かな心」「自ら学ぶ力」を身につけるために、既存の図書館と学校が連携をとり、生涯にわたり学び続ける市民及び児童生徒の育成が必要であると感じた。</p> <p>また、朝倉駅周辺整備事業では、複合施設の中に図書館が併設される可能性もあることから、市川市の学校図書館を参考にして取り組む必要性があると感じた。</p>